

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和元年6月5日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>DAITO COMICS BLシリーズ 愛欲ラッキーホール</p> <p>令和元年5月4日発行</p>	<p>マニアックな内容な上、大部分の性器は修整されているため卑わい感は少ない。ただし、終盤に収録された作品について、拘束具や器具の使用があり、また性器の修整が甘い。描写が卑わいと言えなくもない。総合的に判断し、指定やむなし。</p> <p>男性器、肛門、結合部分には大きめの修整が施されている。構図にも工夫が見られる。人格を否定する性的行為を連想させる描写はない。後半は器具の使用や擬音、体液描写が激しくなるなど、少々露骨で卑わいな感じを与えている。最終話はページ数こそ少ないものの、他に比べて男性器の修整が甘くなっている。指定やむなし。</p> <p>前半の漫画は、性器の修整が施されており、配慮しようとの意図を感じられる。絵柄についても卑わい感は乏しい。しかし、後半の漫画とおまけ漫画を含めると性交描写、性器描写の分量が過多の印象が強く、指定やむなし。</p> <p>全編とまでは言わないがほぼ全裸での性交シーンが多く、擬音もほぼ全編にわたっていて不快。乱暴なストーリーではないものの、青少年の手に届くところに置ける類の本ではないと感じる。指定やむなし。</p> <p>全体としては修整はしているものの、一部修整が甘いところもあり、性描写もある。指定やむなし。</p> <p>性交の描写が多すぎる。擬音や体液の描写も多い。性器は白抜きで消してあるが、形状がわかる。指定該当</p> <p>人格を否定する部分は見受けられない。修整については概ね施されているが、下着を通してではあるが、形状が分かる部分がある。体液描写について若干気になる箇所が見受けられるが、風俗業界における話の設定となっており、それがそのまま青少年に影響を与えるかは疑問。保留</p> <p>絵がかわいく描かれており、ユーモラスな展開で、マンガっぽいと感じた。裸体に近い絡み、手や口、肛門での性的行為など、いろいろなパターンがあるが、人格否定や卑わい感はありません。パンツ越しの性器があり、性交時の体や顔の表情も多すぎる。しかし、青少年が手に取るとは思えない。保留</p> <p>BL物ですごくリアル。前半部分は下着の上からだが、後半部分は性器が白抜きでしっかり消してある。擬音などは少しあるが、性器は直接的に描いておらず、この程度では青少年にそれほど悪影響はないような気がする。指定非該当</p> <p>絵はキレイで卑わい感を感じなかった。売買春を否定せず描いているが、それだけでは指定図書にあたるとは言えない。暴力、薬物の使用による性交など人格否定を賛美しているところも見られない。また、性器の消しは最後の数ページを除き、しっかりなされており「全編大部分」とは言えない。指定非該当</p> <p>舞台設定が風俗店で、性的サービスのシーンが多く見受けられるが、直接的な絡みが多い訳ではなく、下着着用や背後からのカットなど工夫はうかがえる。絵のタッチ、表情もやわらかく、コミカルで卑わい感を感じない。終盤で絡みのシーンが目立ち、体液描写が多くなったのは気になったが、全編大部分とまでの認識はない。指定非該当</p> <p>前半は修整などに工夫がある。後半は性的シーンが多く、体液描写、消しが甘い部分、形がわかるものが数ページあり、画角の工夫もなく、ストレートな描写が多い。ただし、何が描いてあるか判然としないため卑わい感は少なく、全編大部分というほどの量でもない。指定非該当</p> <p>性器についてはよく修整され、形状がわからないように配慮されている。擬音、体液もあるが派手ではない。描き方が淡泊で粘り気がなく、全体的にコミカルで、卑わいに見えない。後半は器具の使用もあり、他の話とくらべて過激ではあるが、人格否定とはいえない。これまでの指定図書と比べても過激度、卑わい度が低い。指定非該当</p> <p>確かに性交している場面がほとんどであり、擬音、体液も多いが、同じ様な場面ばかり。吹き出しとセリフが多く、絵が隠れて何が描かれているのか良く判らない。性器の形も判るがほぼ白抜きになっている。暴力的な描写などもなく、内容は平凡。指定非該当</p> <p>絵柄はコミカルなタッチで卑わい感はない。性器の修整もされていて許容範囲である。指定非該当</p>